

分布。ベトナム（北部）、台湾〔新記録〕、ニューギニア。

備考

台湾から今回調査することができた個体は雌1個体のみで、残念ながら雄個体を検することはできなかった。台湾産の雌個体とベトナム北部の雌個体との比較をすると、触角の分枝の長さがわずかに短いように感じるが、その他の形質では大きな差は見いだすことができなかった。ベトナム産雌雄の比較では、雄は雌に比べ、触角の分枝の長さがより長いこと、腹部第5節の先端は鈍くとがり、幅広く丸くなったり、えぐれたりしないなどの違いが認められた。

本個体が採集された場所は、大漢山（1,688 m）の標高1,300 m付近である。ちょうど吹き上げ採集の良好なポイントとなっているところで、本個体も吹き上げられて飛翔しているところを採集したものである。周りの環境は、ブナ科（Fagaceae）やクスノキ科（Lauraceae）を中心とした広葉樹林で、付近には立ち枯れになった樹なども観察された。ここは、時期になるとミズマホソコバナカミキリ *Necydalis mizumumai* Kusama, 1974 などでも得られる環境でもある。

コメツキダマシは吹き上げで採集される機会は少ないが、模式産地であるベトナム北部の Tam Dao では、灯火に集まったものが現地の人により採集されていることから、ライトトラップやライト付の FIT 等を利用すれば、台湾から未知の雄個体も含め資料の追加が見込めるのではないと思われる。また、今後の調査により、食樹や幼虫の形態などが明らかにされることを期待したい。

本種はエダヒゲコメツキダマシ属の中でもっとも特徴のある種で、体が大型であることや、上翅

が暗赤色で粗く点刻されることなどの形質をもつことにより、他のエダヒゲコメツキダマシ属の種との区別は容易である。大型で触角が双櫛状になるという点では、ベトナム、台湾、日本に分布するクロクシヒゲコメツキダマシ *Procladidus coomani* Fleutiaux, 1927 にも似るが、前胸腹側板の触角溝を欠くことや前胸背板前縁に明瞭な前隆線が存在することで、後者と識別することができる。

引用文献

- Fleutiaux, E., 1896a. Collection des Eucnemidae du Muséum d'Histoire Naturelle de Paris. Mémoires de la Société Zoologique de France, 9: 278–315.
- Fleutiaux, E., 1896b. Eucnemides Austro-Malais du Musée Civique de Gênes. Annali del Museo Civico di Storia Naturale di Genova, 36: 555–606.
- Fleutiaux, E., 1901. Essai d'une classification des Melasinae (Eucneminae des auteurs). Annales de la Société Entomologique de France, 70: 637–664.
- Fleutiaux, E., 1902. Contributions a la faune Indo-Chinoise (Indo-chine Française) 18e Mémoire Deuxième addition aux Cicindelidae et Elateridae. Annales de la Société Entomologique de France, 71: 569–580.
- Fleutiaux, E., 1923. Les Melasidae du Japon (Coléoptères). Annales de la Société Entomologique de France, 91: 291–328, pl.6.
- Fleutiaux, E., 1924. Faune Entomologique de l'Indochine Française. 1. Coléoptères Serricornes Fam. Melasidae. Opuscules de l'Institut Scientifique d l'Indochine, Saigon, (7): 5–184.
- Fleutiaux, E., 1947. Révision des Eucnemides (Coléoptères) de L'Indochine Française. Notes d'Entomologie Chinoise, 9(1): 1–68.
- Schenkling, S., 1928. Melasidae. Pars. 96. In: Schenkling, S. (ed.): Coleopterorum Catalogus. Berlin: W. Junk, 110 pp.

(2012年10月24日受領, 2012年12月10日受理)

【短報】対馬で採集されたアイヌツヤヒメコメツキダマシの記録

対馬のコメツキダマシについては、これまでに14種が記録されているが（鈴木, 2010）、最近譲り受けた標本の中から、対馬から記録のなかったアイヌツヤヒメコメツキダマシ *Xylophilus ainu* (Fleutiaux, 1923) を見いだすことができたので、ここに記録しておきたい。

1ex., 長崎県対馬龍良山, 27. V. 2012, 西野久雄採集（筆者保管）。

今回の記録も含めた本種の分布は、北海道、本州、九州、対馬; 極東ロシア、韓国、濟州島となり、日本海を取り囲んだ地域に広く生息していること

になる。

末尾ながら、貴重な標本をお譲りいただいた東京都の西野久雄氏に感謝したい。

引用文献

- 久松定成, 1985. コメツキダマシ科, pp. 42–51 (pls. 8–9). 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 大阪.
- 鈴木 互, 2010. 対馬のコメツキダマシ. 甲虫ニュース, (172): 11–12.

(鈴木 互 法政大学二高等学校生物科)